

「いのち」と「暮らし」にアシスト

新田真一議会だより



九月号

編集・発行 新田 真一

三次市十日市東 3-5-1 貝塚ハイツ

TEL 0824-69-0515

E mail info@nitta-shinichi.com

一泊・二泊で実施の学校もあり、さらに猛暑の中、熱中症



作木カヌー公園

みよし版わくわく体験事業は、小学五年生が、原則三泊四日で宿泊し地域の方々と交流を図り、ふるさと三次の良さを実感させることを目的におこなわれています。しかしながら、三次市では、四〇人以上の児童を収容する施設がなく、県外での活動を余儀なくされている学校もあります。

新田

みよし版わくわく体験事業の見直しをもとめる

九月の定例会が、九月六日から一〇月一日まで行われ一般質問と補正予算案の審議・二〇一八年度決算の審議が行われました。四項目について一般質問を行いました。

の心配もあり四日間の活動が困難な状況です。児童の健康管理の課題からも見直しを求めます。

教育長

この体験学習は、国・県は泊数が多いことで効果があるとしています。原則三泊四日としていますが、気象条件も不安定であり熱中症の心配もあります。一番大切なことは子どもたちの健康管理であります。

学力テスト改ざん問題を教訓に



二〇〇五年、三次市が全校全学年で実施した学力テストで、管理職によって点数を上げるために誤答を書き直す改ざん問題がおきました。

市広報へすべての学校・学年の結果が公開されたことも「改ざん」の大きな要因であると考えます。教育委員会の見解を問います。

教育長

子どもたち一人ひとりの学力の実態を把握し、課題を分析し授業改善を行い、わかりやすい授業を目指すためのものです。現在学校別の公開は行ってはいません。

市内全体での学力テストの結果は、全国と比較・結果の分析 課題への取組みなどを市広報やホームページで公開しています。

高齢者免許返納への支援策の拡充を

新田

高齢者の免許返納者への支援について、一回限りとしている、バス券・タクシー助成券（有効期限二年）の支給を更新制を取り入れる。また、自動車等の移動手段を必要とされている高齢のみなさんに、「小型モビリティ」「シニアカー」などの貸し出しなどの幅広い支援策の検討を求めます。



地域振興部長

現在 多くの皆さんに免許返納の協力をいただいています。(二〇一八年度 二四四件 一九年度 八月現在 一三二件)

相乗りタクシー 二〇二〇便等の公共交通機関についてもっと利用し

やすい制度や、「支え合い交通」などのあらゆる手段を考えていきます。サポーターの導入・タクシード成券などについては他の自治体の動向も見ながら検討していきます。

働き方改革現状はどうか

学校の長時間労働の実態について、教育委員会から報告がなされました。

学校では、五月・六月とも残業が四五時間を上回った人が、全体の約六〇%になり深刻な状況が続いています。八月に学校に示した、「勤務時間の上限に関する方針・取組み内容」に従い、取り組んでいくことが報告されました。



決算予算委員会での質疑を行う

決算予算委員会

二〇一八年度決算と一九年度補正予算の審議が、決算予算委員会において一般質問終了後九月一七日から二七日まで行われました。



補正予算の審議

新田

小中あわせて約一八〇万円の、工事請負が予算化されました。これは、全学校の電話を留守番電話に対応させるための予算です。



働き方改革のガイドラインで示された、具体的な取り組みの一つです。

この工事請負について、小・中学校の特別教室についての補正が組まれていないことを追求しました。小中学校普通教室にクーラー一〇〇%設置（中学も一部はまだの学校もある）は強調されていますが、特別教室はまだ未整備のところが多く残っています。今後、学校からの要望も確かめながら計画的に進めていくとの答弁がありました。

・幼児教育・保育の無償化が始まります。この制度では、給食費は無償化の対象となりませんが、三次市では、三才〜五才の保・幼に通うすべての幼児の副食費が予算化されました。



新田

二〇一八年度決算審議

保育所の統合計画（八幡保育所）過疎化が進む地域にあって、地域の拠点としての必要性を訴えました。

小学校の市費教員・支援員・介助員の賃金が、大幅に残っている現状を問いました。教育委員会から、支援員・介助員について募集予定に人数が届かなかった報告がありました。が、不足の人数が二転三転はつきりしませんでした。年度の中途での辞任や、臨探が見つからない場合に学校支援員から臨探へ変わったりする実態もあり、学校の現状をよく把握され適切な配置への努力を要望しました。

そのほか審議されたもの

・三次市学校給食調理場策定委員会

を設置し、調理場再編（案）に基づき規模等の再編の方向性を決める。
・もののけ博物館は、予定より早く一〇万人の入場者を達成した。三次町への誘客について、さらなる取組みが必要である。
・「相乗りタクシー」循環バス「くるるん」市民バス等 地域公共交通を確保し一層の整備・充実をすすめていく。



循環バス
くるるん

